

50年後の

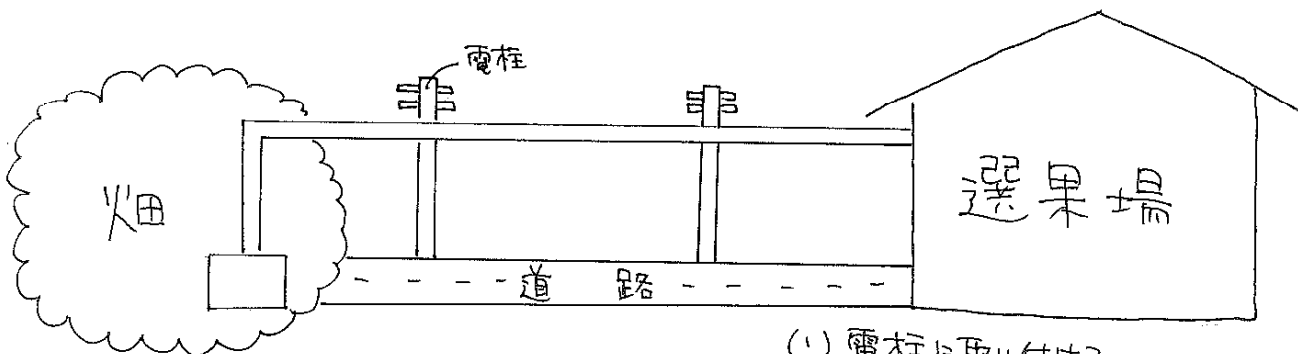
見える化した梨の出荷

I. 目的

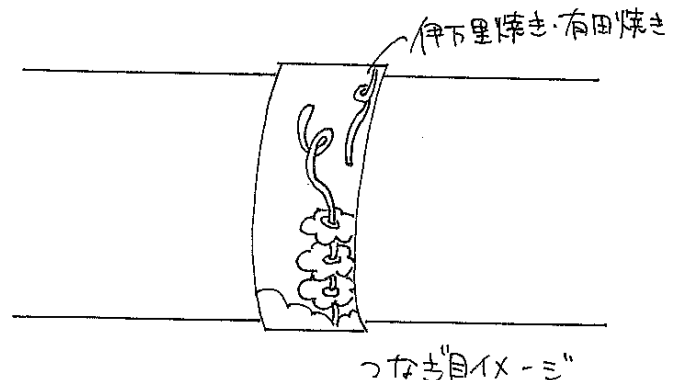
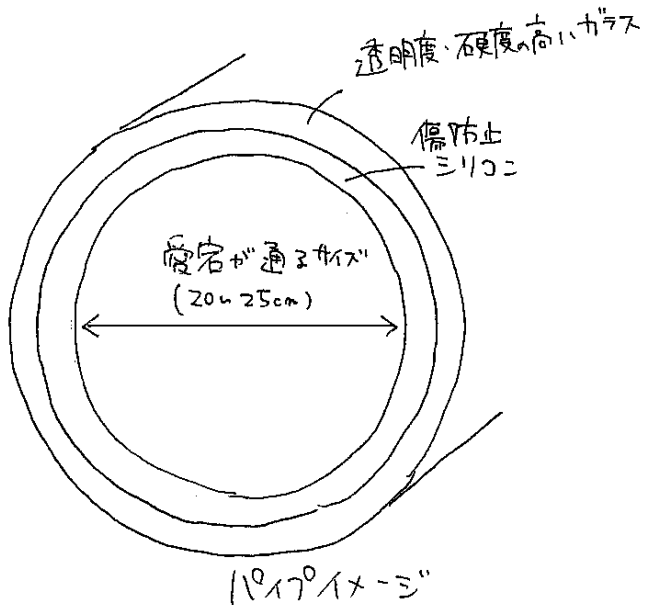
1. 特産品である梨と焼き物のさらなるアピール
2. 出荷の見える化により、観光客を呼び込む

II. 方法

1. 畑から選果場までをパイプでつながって見える化!!!

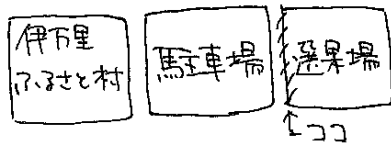


- (1) 電柱に取り付けず
- (2) 歩行者から運転者から見える高さに取り付けず (2.5m ~ 3m)



2. 選果場の見える化!!!

(1) 駐車場側のカーンをガラス張りにする



(2) 時間ごとと人数を限定した無料の場内ツアーをする

選果場に隣接する駐車場の一部をツアー参加者限定カフェにする

例. 14:00 ~ 15:30 のツアー

場内ツアー (職員の説明付き): 無料

↓

カフェ・とれずの梨の試食: 無料

・コーヒー・お飲み物
・デザート (梨のデザート) } 有料

↑

地元の料理の上手な人に集まってもらい料理する

地産地消のカフェにする

III. さいごに

自分たちの町を自分たちの力で盛り上げていきたい。

実現が「あきらめ」か「ささやかな夢」かはあきらめが、地元住民の力をあかりして、

町おこしをしていきたいと思う。